



国内最大のスポーツの祭典 ～48年ぶりに鹿児島県で開催！～

1972（昭和47）年、本県で開催された第27回国民体育大会「太陽国体」。あれから48年後の2020（平成32）年に第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されます。

《国体とは》

国体とは、国民体育大会の略で、都道府県持ち回り方式で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

その目的は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツの精神を高揚して国民の健康増進と体力向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることです。

また、都道府県対抗で点数を競い、男女総合成績第1位の「天皇杯」と女子総合成績第1位の「皇后杯」を目指し、各都道府県の代表選手が熱戦を繰り広げます。

《国体の歴史》

戦後の荒廃と混乱の中で、スポーツを通して国民に勇気と希望を与えようと、全国規模の体育大会の開催が提案され、昭和21年に戦災を免れた京都府を中心とした京阪神地域において第1回国民体育大会が開催されました。

昭和63年には、二巡目の国体がスタートし、現在に至ります。

《よみがえる。あの日、あの時、あの感動！》

昭和47（1972）年に、鹿児島県で第27回国民体育大会が開催されました。愛称は「太陽国体」。「明るく、たくましく、うるわしく」のスローガンのもと、県内21市町で31競技が実施され、まさに県民総参加で大いに盛り上がり、鹿児島県選手団は、天皇杯（男女総合成績優勝）と皇后杯（女子総合成績優勝）を獲得しました。

太陽国体では、全国より19,082名の選手・監督が集い、技を競いました。

鹿児島県選手のがんばりや県民のみなさんの協力で大変すばらしい大会となり、その後も県全体を盛り上げる大きな力となりました。



軟式テニス
史上初「5冠」
完全優勝！

2020東京オリンピック・パラリンピックを追い風に…！

1972（昭和47）年以來、48年ぶりにこの地で国体が開催されます。アスリートたちの熱気溢れるパフォーマンスや市民の心のこもったおもてなしで熱く燃えるような感動を呼び起こす国体を目指します。

熱戦をくり広げるアスリートたちの熱い鼓動と会場に響き渡る歓声が出水市から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いを胸に、もう、準備は始まっています。全国から大勢の選手や観戦者が集まる国体を出水市民一丸となって盛り上げて行きましょう。



★★★ 第75回国民体育大会の概要 ★★★

《愛称》

燃ゆる感動 **かごしま国体**

《スローガン》

熱い鼓動 風は南から

熱戦を繰り広げるアスリートたちの熱い鼓動と会場に響き渡る歓声が、鹿児島から南の風に乗って全国に広がってほしいという思いを込めています。

《開催時期》

2020 (平成32) 年10月3日 (土) ~10月13日 (火)

※ 各競技会の会期日程については、12月15日に開催される(公財)日本体育協会国体委員会において決定される見込みです。

《実施競技》

正式競技 37 競技

公開競技 5 競技

特別競技 1 競技

デモンストレーションスポーツ 36 競技



《マスコットキャラクター》

ぐりぶーファミリー



〜〜出水市開催競技〜〜



【軟式野球】



【高等学校野球】

詳細は次号にてお知らせします



【弓道(近的・遠的)】

準備委員会から実行委員会へ

平成29年7月18日の日体協第3回理事会において、第75回国民体育大会が鹿児島県で開催されることが正式に決定されました。

これに伴い、開催県及び会場地市として、日本体育協会が定める『国民体育大会開催基準要項』の規定に基づき、現行の第75回国民体育大会出水市準備委員会をそのまま引き継ぎ「**出水市実行委員会**」を設置しました。

【名称が変更になりました。】

燃ゆる感動かごしま国体出水市実行委員会



委嘱状交付

燃ゆる感動かごしま国体出水市実行委員会事務局 (出水市産業振興総務課国体準備室内)

〒899-0292 鹿児島県出水市緑町1番3号

電話 0996-63-4777 FAX 0996-63-1331

E-mail sports_c@city.izumi.kagoshima.jp